

今年度の高揃小学校についてのアンケート結果報告

常日頃より本校教育にかかわり、温かいご支援とご理解を賜わり、まことにありがとうございます。さて、今年度も残すところあとわずかになってまいりました。来年度の学校経営につきましては、児童アンケートと保護者の皆さま方から頂いたアンケートの集約結果を、よりよい学校づくりに活かしていきたいと存じます。

今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

【子ども達のアンケート結果より】 [A:よくできた B:少しできた C:あまりできなかった D:ぜんぜんできなかった]

	A	B	C	D
1 学校は楽しいですか	73.7	22.6	2.1	1.6

【分析】A「楽しい」とB「まあまあ楽しい」を合わせると96.3%の児童がプラスの評価をしています。今後はAの割合を更に高め、CとDの割合を減らすためにより丁寧に子どもたちと向き合って指導していきたいと思ひます。

	A	B	C	D
2 読書を進んでしましたか	34.2	39.5	21.6	4.7

【分析】AとBをたして73.7%になっていますが、詳しく見ると、低学年は81%、中学年は74%、高学年は66%と学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。声かけなどの働きかけを大切にしながら、学校と家庭とが連携し、読書環境を整えていきたいと思ひます。

	A	B	C	D
3 清掃について黙働しながら協力してできましたか	41.5	46.8	9.0	2.7

【分析】黙働の意味を再確認させながら、自分から気づいて行動し、丁寧に掃除に取り組もうとする心を育み、Aの割合を高めていけるように、指導していきたいと思ひます。

	A	B	C	D
4 七夕集会、交流給食など縦割り班の活動は誰とでも仲良くできましたか	85.3	12.6	1.6	0.5

【分析】昨年度の割合については、A評価は67.2%、CとDを合わせた評価は12%になっています。今年度Aと回答した児童が約18%（34人）増え、マイナスの評価をしている児童は約10%減りました。子どもたちにとって意義のある縦割り班活動になっているので、ねらいを再確認しながら、来年度も意図的、継続的に設定していきたいと思ひます。

	A	B	C	D
5 運動会やましまずフェスタなどの行事の中で、自分の役割をしっかりと行うことができましたか	85.2	11.6	2.1	1.1

【分析】A評価と回答した児童は85.2%で、昨年度より約10%の伸びが見られます。行事を通して、子どもたちにつけさせたい力を確認し、共通理解にたつて指導してきた成果と考えています。

	A	B	C	D
6 学級では誰とでも仲良くできましたか	67.5	29.3	2.6	0.5

[分析] A評価について詳しく見ると低学年では約80%、中学年と高学年では約60%という結果になっています。今後も教育相談アンケートを随時しながら、子どもたちがよりよい関係を築いていけるように支援していきたいと思います。

	A	B	C	D
7 家族や先生、地域の人にすすんで挨拶ができましたか	73.3	22.0	4.2	0.5

[分析] 毎日会う特定の人や決まった場所での挨拶については、進んでできる児童が増えてきています。今後は突然の来客やいろいろな場所での挨拶も進んでできるように継続指導していきたいと思います。

	A	B	C	D
8 授業ではわかるまで粘り強く取り組みましたか	50.5	30.0	15.3	4.2

[分析] 昨年度の割合については、A評価は43.3%、CとDを合わせた評価は13.4%になっています。今年度Aと回答した児童が約7%（13人）増えましたが、マイナスの評価をしている児童も約6%増えました。3学期は中・高学年を中心に、わかるまで丁寧に取り組めるように指導していきます。

	A	B	C	D
9 自分から進んで意見や考えが言えましたか	42.3	29.1	19.0	9.5

[分析] 昨年度の割合については、A評価は27.9%、CとDを合わせた評価は36.3%になっています。今年度Aと回答した児童が約14%（27人）増え、C、Dのマイナスの評価をした児童が約8%（15人）減りました。全校朝会など普段からいろいろな場面で指導してきた成果があらわれてきています。

	A	B	C	D
10 授業では友達の見聞をしっかりと聞くことができましたか	70.2	24.5	4.8	0.5

[分析] 教師のよりよい授業づくりをするために心がけてきたことが子どもたちの姿勢に現れてきています。今後はA評価の児童が80%になるように継続して指導していきたいと思います。

	A	B	C	D
11 授業で先生はわかるまで勉強を丁寧に教えてくれましたか	87.3	9.0	2.6	1.1

[分析] A評価と回答した児童の割合がとても高い結果になりました。校内研究を通して、教師一人一人が授業力を高めてきた成果の現れと捉えています。これからも1時間、1時間の授業を大切にしながら、子どもたちの心にとどく授業づくりをすすめていきたいと思います。

	必ず取り組む	まあまあ	あまりしない	全然しない
12 家に帰ってから学習をどのくらいしますか。 (1) 宿題	80.4	17.0	2.1	0.5

12 家に帰ってから学習をどのくらいしますか。 (2) 宿題以外	19.9	48.4	22.0	9.7
-------------------------------------	------	------	------	-----

[分析]

学習時間 合計	～15分	～30分	～60分	60分～
	6.4	25.8	58.3	9.5

少なくとも10分×学年+10分の学習時間を確保して家庭学習に取り組んでいきたいものです。また、宿題以外の予習などに進んで取り組んでいる姿も

見られます。自分で工夫して家庭学習に取り組んでいくことも大切なことです。

	A	B	C	D
13 困ったときは先生に相談できますか	46.6	33.9	14.3	5.3

[分析] CとDを合わせた19.6%(37人)の子どもたちがいることを改めて意識しながら、アンケート調査や個別面談の機会を意図的に設定し、子どもたちに寄り添い、安心して学校生活を送れるように子どもたち一人一人に目をかけ、声かけをしていきたいと思ひます。

	A	B	C	D
14 登下校、自転車乗り、遊びについて安全に気をつけながら生活できていますか	82.5	10.6	4.2	2.6

[分析] 自分のいのちを自分で守れるように避難訓練や安全教室、全校朝会での機会を捉えて、指導してきています。今後もC、Dの児童の割合が減り、A評価が90%以上になるように指導を継続していきたいと思ひます。

15 家でどのくらいゲーム機を使ってゲームをしていますか	しない	する
(1) 学校がある日	52.4	47.6

15 家でどのくらいゲーム機を使ってゲームをしていますか	しない	する
(2) 休みの日	24.9	75.1

学校がある日のゲーム時間	～30分	31～60	61～90	91～120分
すると回答した人の割合	43.9	48	0	8.1

休みの日のゲーム時間	～30分	31～60	61～90	91～120分
すると回答した人の割合	40.4	37	1.3	21.3

[分析] 休日にゲームをしている割合が高いです。平日も半数近くの児童がゲームをしていることが改めてわかりました。家庭での過ごし方については、学習時間の確保ができているか、ゲームによって生活のリズムが不規則になったりしていないかご家庭でもご確認下さい。お子さんの生活に合わせて、「ゲームをしない日」を設けるなど適切なお声かけや対応をお願いします。

	A	B	C	D
16 遊び村や総合の学習などで地域の方々と一緒に活動したり教えてもらったりして楽しかったですか。	91.1	7.9	0.5	0.5

[分析] 昨年度と同じような結果になっています。今後も地域の方々との連携を計画的に図りながら、地域の方々に感謝し、地域を愛する子どもたちの育成に努めていきたいと思ひます。

【教職員の反省より】

1 学力向上に向けて

- (1) 本校では、今年の10月に天童市教育員会委嘱の公開研究発表会を予定しています。一人一人がしっかりと考え、その考えや思いを自分の言葉で伝え合う活動を学校生活の色々な場面で行ってきました。その成果が全校朝会や授業の場面で見られるようになり、友達の意見をしっかりと聞き、自分の考えを語れる子どもたちが増えてきました。3学期には、ノートを見合うコーナーを設置するなど、ノートの取り方の指導に心がけ、「聴く」「考えをまとめる」「伝え合う」「振り返る」場面を大切にしながら学力の向上を図っていききたいと思います。
- (2) 8時25分から15分間、朝活動で「ぐんぐんタイム」という、基礎基本の定着をはかるための学習の時間を確保して取り組んできました。担任外の教師(校長、教頭、教務)も指導に加わり、個に応じた指導に心がけてきました。今後も放課後など個別指導の時間を確保しながら、家庭学習にもきちんと取り組ませ、基礎基本の定着を図っていきたくて考えています。

2 縦割り班活動で心を育む

七夕集会(1学期)、わくわく集会(2学期の授業参観の時)、交流給食、縦割り班清掃など、望ましい人間関係を築き、他者を思いやる心を育むために年間計画に位置づけて異学年交流に取り組んできました。これからも縦割り班活動のよさをいかしながら、これまでの活動を再考し、めあてをしっかりとめさせて意図的、計画的、継続的な取り組みを推進していききたいと思います。

3 集団の一員として生活する規範意識を持ち、自らルールを守って、安全に生活しようとする態度を育てる。

子どもたちの規範意識を高めるためには、継続的な指導が必要です。学校では、長期休業中に学区や近隣地区のパトロールをすることを含め、随時全体指導をしたり、学級で「高揃っ子のくらし」をもとにしながら指導したりしてきました。子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、学校と家庭が共通理解のもと、より一層連携して子どもたちの規範意識を育てていく必要性を強く感じます。

3学期には、高学年の児童を対象に、外部講師を頼んで、インターネットや携帯電話に関する危険性について学ぶ機会をつくりました。

4 いじめのない学校づくり

いじめについては教育相談アンケート(「くらしのアンケート」)をとりながら、子どもたちの「今」を丁寧に把握していきたくて思います。また、これからも担任だけに任せるのではなく、教職員全員で子どもたち一人一人を育てていこうとする基本姿勢を大切にしながら、子どもたちと関わっていきたくて思います。ご家庭でもお子さんのことで気になるようなことがありましたら、遠慮無くお申し出ください。

5 体力づくり

マラソンカードや縄跳びカードを使ったり、ストップウォッチを子どもたち一人一人に持たせて走らせたりして意欲をもって体力づくりができるようにし、また、グラウンドに100mラインを引き、走る環境を整えるなど工夫しながら子どもたちの体力づくりに取り組んできました。今後も子どもたちが、体力の向上に進んで取り組めるように、計画的、継続的な体力づくりの場を考えていきたくて思います。

6 学校の情報をタイムリーに地域・家庭へ発信します

今年度も、子どもたちの様子やがんばり、学校の情報を学校ホームページに載せて、地域やご家庭の方々にお知らせしてきました。安全・安心メールによる情報も発信してきました。今後も子どもたちの様子がわかるように積極的にお伝えしていきたくて思います。どうぞよろしくお願い致します。